

## 1 1. 廿日市市最高峰

## 吉和冠山 (1338.9m)

廿日市市



西中国山地の主要な山で  
広島県内2番目の高さ。頂上  
付近が冠型で目をひく。広島  
の一級河川太田川の源流でも  
ある。

廿日市市	2017,4,1 推定
<面積>	489.48 km <sup>2</sup>
<人口>	115,207人
<人口密度>	235人/km <sup>2</sup>

【山行日】 11月19日(日) ☆ 天候:曇り

【参加者】 16名 CL西田文雄 SL三浦美雄子

中島(美) 宮木(澄) 越知 福田 合志 反田 松本 藤原 皿家 佐々木 林 得本  
高橋 田所

【コースタイム】

県庁北 7:30⇒新幹線口西⇒中筋⇒筒賀P (トイレ休憩) ⇒吉和 I C⇒旧冠山スキー場跡  
→9:40 松ノ木峠→11:30 寂地分岐→12:10 冠山頂上 (昼食) 12:30→工事中の林道→鉄  
製の橋→15:00 タイヤ工場前⇒汐原温泉 16:00⇒吉和 I C⇒新幹線口 17:20

【報告】

急激に真冬並みの寒気となった。高速道路通行中にもみぞれ交じりの水滴が窓に当たる。旧冠山スキー場跡で身支度を整え松ノ木峠に移動した。道端の草には雪が少し積もっていた。山に入ると時々差し込む日差しが木立から漏れて、落ち葉の上の雪で反射し、幻想的な景色を見ることができた。尾根上の道をアップダウンを繰り返しながら、途中補助ロープの掛けられたところを超えて寂地への道の分岐に到着した。木の枝に吊るされた色とりどりのテープが多数あるので良くわかる。

「冠山へ30分」と書かれた小さな看板を見つけ、右手の道に入る。標高で約1200mに近い高さがあるこのあたりから積雪が多くなった。雪の重みで笹の葉が頭を下げ登山道を覆っている。最後の登りを超えると一等三角点と「冠山 1339m」と書かれた標識があり山頂到着である。雪交じりの北風に吹かれると体温が奪われそうだが写真撮影を行う。風を避け下山道に下がったところで昼食を少し食べ、体が冷えないうちに慌ただしく下山することにする。下り道は思ったほど滑らず、ある程度下がると雪も少なくなり、風も穏やかとなった。やがて工事中の林道に出て、これを横断して沢に沿った杉木立の道に行く、ところどころ倒木が道をふさいでいる。鉄製の橋を渡ると自動車道にでる。タイヤ工場の前で待つマイクロバスに乗って汐原温泉に行き汗を流した。

振り返ってみれば、11月中旬という時期に体験した冬山山行でした。

(記 西田文雄)



## 冠山産の石器はブランド品だった？

1958年、広島市牛田町の早稲田神社再建工事中に、貝塚が発見された。その中に石鏃(矢じり)や小刀の打製石器があった。この石を調べたことから、石器は近くの石を拾ってきて適当に作るのではなく、特定の産地の石を使用し、人々には交流があったことが広島県でも解明されるようになってきた。石は「角閃石普通輝石紫蘇輝石安山岩」という名前だった。(ややこしい～～！黒味がかかった灰色の石だそう。)

その時クローズアップされたのが冠山の安山岩だった。産地として目を付けられたのは、冠山産安山岩が表出している冠高原及びその周辺だった。調べてみるとここに転がっている石と牛田で出土した石器は同じ種類のものだった。この辺りで縄文時代の石器が出土することは古くから知られていたようである。中国縦貫道建設に伴う発掘調査などで古くは後期旧石器時代から縄文前期くらいまでの石器原産地遺跡が存在することが判明した。1998年には石器石材の採取から石器製作まで行ったと推定される場所も見つかったそうである。

牛田以外の遺跡の石器も調べてみると冠山産の石だと判明していく。東広島市に広島大学が移転することになり、建設工事に伴って発掘された西ガガラ遺跡でも冠山産安山岩を使った石器が出土している。牛田と冠山、東広島市と冠山、どちらもずいぶん距離がある。直接交易したのか、間に何かを介して仕入れたのか分からないが、ちゃんと石の性質を見極めて石器は作られ、使用されていたようだ。同じ石器でも矢じりと斧では種類の違う石が使われていたらしい。

やがて、ブランド品だった冠山安山岩にも陰りが出てくる。縄文前期、約6000年前頃から、香川県金山産安山岩の利用圏が広がり、冠山産安山岩の利用圏が急速に縮小していったようである。金山産安山岩は「讃岐岩」、別名「サヌカイト」と呼ばれ、石器材料として黒曜石とともによく知られている石である。非常に硬くて割ると鋭利な破片ができ、切れ味のいい石器ができる。叩くと高く澄んだ音がするので楽器としても使われたと言われる安山岩である。石器にも流行り廃り(はやりすたり)があったのだ。

参考：広島大学文化財博物館「埋蔵文化調査部門」HP、「広島県吉和村・佐伯町冠遺跡群の発掘調査」沖憲明、「ひろしま 歴史の焦点(上)」中国新聞社

### 廿日市市最高峰 冠山の山頂で



#### 今までやまぼうしで登った廿日市市の他の山

経小屋山 城山 弥山(宮島) 岩船岳  
三つ丸子山 船倉山 大野権現山  
烏帽子岩山 河平連山  
極楽寺山 野貝原山 折敷畑山  
羅漢山 鬼ヶ城山 大峯山